

参加した高校生らが試した滑り台。幅が広く、
介助者と一緒に滑ることができる



仙台・荒浜

障害者も楽しめる遊具備える

屋外遊び場オープン

仙台市若林区荒浜地区の交流拠点「深沼うみのひろば」に31日、障害の有無にかかわらず楽しめる「インクルーシブ遊具」などを備えた屋外遊び場がオープンした。

ひろばを運営する今野不動産（青葉区）が、交流拠点の総合棟前の約850平方

方メートルのスペースに、滑り台やブランコなどの複合型の遊具を設置。車いすのまま入れるスロープが設けられているほか、滑り台は幅が広く、介助者と一緒に滑ることができる。

多くの親子に広々とした遊び場を楽しんでもらい、にぎわいのあるエリアにしていきたい」と述べた。

ひろばは、東日本大震災で被災した荒浜の防災集団移転跡地を活用する仙台市の事業の一環で、同社が2023年に開いた。

公園の利用は午前10時〜午後5時。木曜定休。デジタルマップや最新情報などは、ひろばのホームページで確認できる。